



普請して  
人に役立つ道しるべ

# 〈遊歩一景〉

引野  
学区

普請（ぶしん）とは、土木や建築などの共同作業を指します。写真は、1922年（大正11年）に引野村青年団梶島支部が普請して建てた道しるべです。工事で不明になっていましたが、2014年（平成26年）に発見、現在は梶島山のふもとにあります。道しるべの設置は、明治から大正期に各地の青年団が社会貢献として取り組みました。

梶島山は、島でしたが江戸期の干拓で地続きになり、東は百間土手、西は千間土手、北は石樋躰（いしひなわて）と呼ばれる土手が合流した場所です。どの土手も人が往来したので、この道しるべが多くの旅人に役立つことでしょう。

引野海岸では、古くから海水浴を楽しんだようです。道しるべには「東 引野海岸 …」と記してあり、海水浴客に役立つことでしょう。

今では地図やナビが発達し、道しるべは歴史の跡となりましたが、青年団が汗を流した普請の精神は、まちづくりなどに受け継がれています。



## 東部いれこみ情報 学習情報 No.253

2022年(令和4年)10月7日 10月号

発行 東部地域振興課

住所 〒721-0915 福山市伊勢丘6-6-1

電話 940-2574 FAX 947-5658

カーは 福山市東部地域振興課  
ホームページで検索・QRコード



### 「親の力をまなびあう学習プログラム」講座

インターネットで検索すれば子育てに関する情報があふれている一方で、実際の生活場面では「気軽に相談できる人がいない」など、保護者の「孤立化」も指摘されています。

この講座は「親プロ」と呼ばれ、「寄って話して 自ら気づく」を合言葉に、ワークシートに沿って、みんなで話をし、共感したり、ネットワークが広がることを目的としています。子どもたちから、保育所や幼稚園の保護者、孫育て世代の方まで幅広く参加されています。

### 新しいワークシートが開発されています！

サイコロやカードを使って、短時間でできる「親プロ」もあります。お気軽にご相談ください。

みんなどうしてる？ 子供の生活編 対象年齢 0～2歳

- 食（遊び食べ・離乳食・好き嫌い等）
- 睡眠（寝かしつけ・夜泣き・夜の授乳等）
- 遊び（屋外・屋内・関わり等）
- 我が家の〇〇ルール
- うれしかった瞬間
- フリートピックス



#### 【問い合わせ・申し込み】

福山市人権・生涯学習課 Tel.928-1243  
東部支所東部地域振興課 Tel.940-2574

## 桜坂ギャラリー 企画展

### 写真展 身近にある優しい工夫を探そう

- 期間 10月8日(土) ~ 10月30日(日)
- 場所 東部市民センター 2階 ロビー

障がいがある人もない人も、便利で安心して生活できるいろいろな工夫が暮らしの中に活かされています。

福山市障がい者基幹相談センターが、そんな工夫の発見を募集し、写真コンテスト「ふくやま『ローズマインド』～思いやり・優しさ・助け合いの心～」2021 を実施しました。その入選作品を展示します。

主催・問合せ先 東部地域振興課  
電話 084-940-2574  
FAX 084-947-5658



## “地域をつなぐまちづくり” 紹介



### 三世代交流折り紙ヒコーキ教室(御幸学区まちづくり推進委員会)

御幸学区にギネス記録保持者がいらっしゃるのをご存知でしょうか?「紙飛行機の最も長い滞空時間」で29.2秒の記録を持つ戸田拓夫さん(紙ヒコーキ博物館館長)です。

御幸学区では戸田さんに講師を務めていただき、紙飛行機の飛行距離を競う教室を毎年開催していますが、新型コロナウイルス感染症の影響で今回は3年振りの開催となります。

子どももおとなも一緒に楽しめる教室ですので、参加して記録に挑戦してみませんか?



【日 時】10月15日(土)

9時30分~11時30分(受付9時~)

【会 場】御幸小学校 体育館

【講 師】戸田拓夫さん(紙ヒコーキ博物館館長)

【内 容】ギネス記録を持つ講師に折り方を学び、飛行距離を競います。

【対象者】どなたでも

【持参物】上履き

【定 員】こども:25人 おとな:15人(先着順)

【申込締切】10月14日(金)

【申込み・問い合わせ先】

御幸公民館 084-955-0392

### 感染予防対策を行いながら、「親プロ」の講座を実施しています!



#### ★ 野々浜 公民館 ★

「さあどっち!?~信じる,見守る,待つ,聞く~」というテーマで、ワークシートを使用しながら、子ども達の思いにどのように寄り添えばよいかや親子でうまく言葉のキャッチボールができていかなどを出し合いました。



参加者は、子育ての悩みや思いを共有することができました。

#### ★ 大門 公民館 ★

「スマホ時代の子どもたち~身につけたいスマホリテラシー~」というテーマで、デジタル社会の中で、適正な利用法について意見を出し合いました。SNSは使用方法によっては、トラブルに巻き込まれることもあり、使い方についてしっかり親子でコミュニケーションをとりながら、学習することが大事だという声が聴かれました。

#### ★ 地域子育て支援センター せんにしの丘 ★

未就園児と保護者6組の参加がありました。隣の人と距離をとり、おひざに抱っこして絵本の読み聞かせを行いました。



絵本「だるまさんが」の読み聞かせの時は、身体を揺らしながら、「どてっ」と言っては転がり、「びろーん」と言っては身体をのばしていました。また、「どんな絵本を読んだらいいですか?」という質問や「これまで読んだことのない本に出会えたのがうれしかった。」と笑顔の保護者もいました。

「親プロ」講座を希望される方は、  
東部地域振興課 (084-940-2574) まで

# 東部管内イベント・講座情報

\*参加される際は、マスクの着用、手洗い(消毒)、検温、連絡先の記入等にご協力をお願いします。  
\*新型コロナウイルス感染症の感染状況により、延期または中止となる場合があります。  
\*詳細については、それぞれの問い合わせ先までお願いします。

## 春日コミュニティ館

### 中国の食文化を交流しよう ～豚まんをつくろう～

【日 時】10月27日(木)10時～12時  
【講 師】石井 美芳さん  
(中国帰国者をささえる会・中国帰国者3世)  
【内 容】豚まんづくり  
中国と日本の文化についてのお話  
【定 員】10人(先着順) 【材料費】350円  
【持参物】エプロン・三角巾・ふきん・  
持ち帰り用容器・飲み物  
【会場・申込み・問い合わせ先】  
春日コミュニティ館 084-943-2531

## 緑丘公民館

社会教育活動事業

### 地域力up! SDGsに目を向けよう① 地域資源を活かした「花びら染め」

【日 時】10月31日(月)10時～12時  
【講 師】濱賀 寿恵さん(サークル袖指導者)  
【内 容】地域で育てた花を染色に使いシルク  
ハンカチを染めます。  
【定 員】10人(先着順)  
【材料費】1,200円 【持参物】エプロン  
【申込締切】10月24日(月)  
【会場・申込み・問い合わせ先】  
緑丘公民館 084-943-5495

## 春日公民館

社会教育活動事業

### 春日生き生きセミナー2022 『認知症介護』が突然やってきたっ!

【日 時】11月4日(金)10時～11時30分  
【講 師】沼本 春美さん  
(介護福祉士・介護や暮らしにまつわる  
活動 鶴亀大福代表)  
【内 容】安心して家族と暮らせるよう、相談  
先や介護サービスについてのお話  
【定 員】15人(先着順)  
【持参物等】飲み物・筆記用具

【会場・申込み・問い合わせ先】春日公民館 084-947-4491

## にこにこスマイル

### \*おでかけ公民館

【日 時】11月10日(木)10時～11時  
【講 師】川相 智代さん  
(ベビーマッサージ講師)  
【内 容】ベビーマッサージ  
【対象者】生後2か月から1歳くらいまで  
の赤ちゃんと保護者  
【定 員】8組(先着順)  
【材料費】200円(ベビーオイル代)  
【持参物等】飲み物・バスタオル

## 東部図書館からのお知らせ

### サロンコンサート

【日時】10月25日(火)  
14時～14時30分  
【場所】東部図書館 2階集会室  
【内容】マンドリンとギターの演奏  
【出演】マンドリン・ギターアンサンブル  
「ザ・ひまわり」  
【定員】30人(当日先着)

【申込み・問い合わせ先】東部図書館

### 講座「使ってみよう!電子図書!!」

【日 時】10月31日(月)11時～12時  
【場 所】東部図書館 2階集会室  
【内 容】電子図書サービスの利用方法の説明と、  
貸出や予約の体験  
【申込み】10月15日(土)10時から  
来館または電話で  
【定 員】10人(事前申込み・先着順)\*中学生以上  
【持参物】ネット接続が可能なスマホやタブレット  
\*Wi-Fi環境はありません

084-940-2575

## ●「障がい者は社会にある」という意味

・障がい者差別解消法は、「障害は障がい者の行動を制限している社会の仕組みや構造にある」と指摘しています。

かつて、社会参加の意義が重視されず「障がい者は利用しないだろう」という前提で作られた施設やインフラが多くあります。

## ●「合理的配慮」で差別を解消する

行動を制限する社会の障害は、みんなで知恵を出し合うことで解消できる物が多くあります。受付にローカウンターを作り、手話や筆談で対応できる窓口も増えました。

この工夫を「合理的配慮」と呼びます。「働いて賃金を受け取る」「芸術やスポーツ観戦などで余暇を楽しむ」「政治に参加して行政に意見を言う」など、合理的配慮は、障がい者の社会参加を促進します。福山市人権尊重のまちづくり条例は、この考え方を大切にしています。



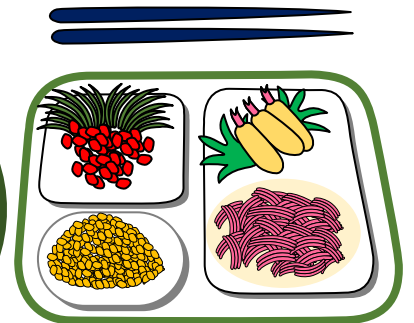
## 条例の理念を活かした社会の実現に向けて

「人権尊重のまちづくり」について、さまざまな記事を掲載していきたいと思います。条例の理念が活かされた社会の実現に向けて、考える機会にすることができればと思います。

## コロナ禍対策 知恵袋

私たちの暮らしは、少しずつ「コロナ前」の姿に戻りつつあり、感染者数は減少傾向にあります。引き続き感染対策が必要です。そこで、「感染予防のひと工夫」を交流したいと思います。

食事は、大皿ではなく、個々のお皿に盛りつけています。  
食器や箸の共用は、しないようにしています。



## あつゝのあつゝイベント

先日の台風15号による静岡県での被害をはじめ、今年も日本各地で様々な災害が発生しています。

防災の基本は「自分の命は自分で守る」ことですが、その中でも危険を回避するための避難行動が極めて大切になります。

しかし、人間は目の前に危険が迫ってくるまで「まだ大丈夫」とその危険を軽視することで、心のバランスを維持しようとする心理（正常性バイアス）が働き、逃げ遅れにつながる可能性があります。

また、「みんな逃げてないから大丈夫」と周囲の行動に合わせる心理（同調性バイアス）も逃げ遅れの原因となります。

災害時にはこうした心理が働き、今の自分は危機を認識できていないかもしれないという意識を持つことが大切です。人間の深い心理をすぐに変えることは難しいため、まずは二つの心理があることを知り、身近なところから少しずつ備えの意識を高めていくことが防災力の強化につながると思います。

